

製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゆ〜す
<https://japan.otakaraneews.com>

じゃぱんお宝にゆ〜す

モノづくり現場の未来を見つける
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞
最新情報満載！好評配信中！

SUGINO Grinding Technology Japan 2023 出展

液中微細コンタミ・油分除去ユニット「JCC-HM」 バリ取り用ツールホルダ「Barriquan (バリカン)」 ローラ・バニシングツール「SUPEROLL (スパロール)」

ステンレス研削液 浄化を実機で実演

株式会社スギノマシン(富山県滑川市、社長：杉野 良暁氏)は、3月8日(水)～10日(金)の3日間、千葉県・幕張メッセ ホール8で開かれるGrinding Technology Japan 2023に各種クーラントの浄化ユニット「JCC-HM」を出品する。

Grinding Technology Japanは、工具製造技術と研削加工技術の専門展示会として2019年にスタートし、今回で3回目を迎える。

同展示会は各種研削加工技術、工具製造技術を支える工作機械、砥石、計測、周辺機器が多数出展する。スギノマシンは、同展示会に液中微細コンタミ・油分除去ユニット「JCC-HM」をはじめ、バリ取り用ツールホルダ「Barriquan (バリカン)」、ローラ・バニシングツール「SUPEROLL (スパロール)」など、研削加工に貢献する独自の関連製品を出展する。

液中微細コンタミ 油分除去ユニット 「JCC-HM」

今回、スギノマシンブース(No. 010)では、液中微細コンタミ・油分除去ユニット「JCC-HM」(実機)を用い、マイクロバブルによるステンレス研削液の浄化を実演、披露する。

液中微細コンタミ・油分除去ユニット「JCC-HM」は、マイクロバブルの力で液中の異物や油分を除去する浄化ユニット。必要な動力はエアだけで、電源は不要。しかも、フィルタなどの消耗品も発生しない。

水溶性の切削油から洗浄液まで幅広



く活用でき、加工現場の課題解決、コスト削減に貢献する。

研削加工時に発生するスラッジが研削液中に増えると、ワークに傷を付ける原因となり、品質不良につながるほか、また微細な研削スラッジは、フィルタでは除去し切れず加工液中に残留してしまうことが要因となり、加工品の高精度化、高品質化の妨げにもなっている。これらの課題を大幅に解決したのが、スギノマシンの液中微細コンタミ・油分除去ユニット「JCC-HM」で、液中のスラッジを97%除去する。

同ユニットは、エアと2本のホースをつないでスイッチを入れるだけで容易に設置でき、加工現場の即戦力として研削スラッジ除去効果を発揮する。これにより、ワークの傷つき、品質不良を防止する。

期間中は「JCC-HM」実機による、ステンレス研削液の浄化実演を実施。実際の効果を試してみたい来場者は、スラッジを会場まで持ち込むことで、その場で専用のデモ装置を用い、マイクロバブルによる「浮上分離デモ」を実施する。

バリ取り用ツールホルダ Barriquan (バリカン)で 「バリ取りをカンタンに」

バリ取り用ツールホルダ「Barriqua



n)は、フローティング加工によってバリ取りで発生する様々な問題を解決する画期的商品。マシニングセンタやロボットなどによるバリ取り作業の機械化・自動化を可能にする。

金属部品の加工時に発生するバリ(突起)を除去する「バリ取り」は、人手不足や生産性向上、危険作業の廃止などを目的に自動化ニーズが高まっている。手作業で行っているバリ取りをマシニングセンタやロボットで自動化しようとする、狙い通りのバリ取りができない場合があり、その原因として、切削工具の摩耗によるバリの大きさ・形状の変化、ワーク寸法のばらつき、ワーク固定時の取付け誤差などが挙げられる。

バリ取り用ツールホルダ「Barriquan (バリカン)」は、フローティング機構を備えたアタッチメントにより工具をワーク形状にならわせることで、ワークの削れ過ぎやバリの取り残しを防ぐ加工方法で注目されている。

マシニングセンタによるバリ取りの機械化やロボットを用いたバリ取りの自動化を可能にする各種タイプを提供している。

ローラ・バニシングツール 「SUPEROLL (スパロール)」

ローラ・バニシングツール「スパロー



ル」は、ローラで金属表面を押し均して、なめらかに仕上げる鏡面仕上げ工具。ローラによる転圧加工により、金属表面を塑性変形させ加工面をなめらかに仕上げるができる。

「SUPEROLL」は、“均す”、“拡げる”、“強度を上げる”、“硬度を上げる”ことが可能な画期的な工具で、同社のロングセラー商品として自動車関連をはじめとする幅広い部品加工分野の必須アイテムとして愛用されている。

「引っ掛かりの無い摺動面を造りたい」「機密性の高いシール面を造りたい」「疲労強度の高い製品を造りたい」「今すぐ表面粗さを改善したい」「穴を少しだけ拡げたい」「切削加工を安定させたい」など、加工現場の課題に応える豊富なタイプを提供している。

Grinding Technology Japan 2023 開催概要

- ◇会期：2023年3月8日(水)～10日(金)
- ◇開場時間：10時00分～17時00分
- ◇会場：幕張メッセ 展示ホール8
- ◇入場料：招待券持参、インターネットからの事前登録で無料(登録無し：2,000円)
- ◇小間番号：No. 010

(※資料提供：スギノマシン)

■スギノマシンURL → <https://www.sugino.com/>
 ■液中微細コンタミ・油分除去ユニット「JCC-HM」 → <https://www.sugino.com/site/jcc-hm/>
 ■バリ取り用ツールホルダ「Barriquan(バリカン)」 → <https://www.sugino.com/site/deburring-tool/>
 ■ローラ・バニシングツール「SUPEROLL(スパロール)」 → <https://www.sugino.com/site/roller-burnishing-tool/>